

# Br. Holdings Report

第15期 年次報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



 株式会社 ビーアールホールディングス



証券コード：1726

# 「人と人」 「技術と技術」の橋渡し

ビーアールホールディングスグループは、異なる事業特性・成長ステージを擁するグループ企業で構成された企業群を目指します。

そのグループ全体をまとめ、企業価値の最大化に努め、資本効率のさらなる向上を目指すのが、ホールディング・カンパニーとしての当社の役割です。

欧州統一通貨ユーロ紙幣の裏面は、全てのコミュニケーションを象徴する橋のイメージのデザインで統一されています。

株式会社ビーアールホールディングスの経営理念も同じです。

技術で社会に貢献する企業グループとして、これからも「人と人」「技術と技術」の橋渡しをすることに取り組んでまいります。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第15期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)が終了しましたので、当社グループの業績及び事業活動をご報告させていただきます。

当社グループの第15期の業績は、当期期首の建設業主要2社の手持工事高が21,379百万円(前年度期首手持工事高16,968百万円)と25.9%ほど増加して始まりました。プレストレストコンクリート建設業協会の平成28年度各社受注報告は3,001億円(前年度受注高3,003億円)とわずかながら減少しましたが、当社グループ建設業主要2社の受注高は27,663百万円(前年度受注高21,996百万円)と25.8%増加し、受注時粗利益率も5.6%ほど増加したため、今後とも安定した増収増益基調を維持できる見込みであります。また、今後、新規の橋りょう建設は徐々に減少していきますが、NEXCO(高速道路会社)各社の大規模更新・大規模修繕計画が3年目に入り発注量が対前年度比で増加するなど、橋りょうの補修・補強分野は今後とも発注量が増加していきます。子会社の極東興和(株)が独自技術として、市場で比較優位を保つマイクロパイル工法、K-LIP亜硝酸リチウム工法などは粗利益率も高く、今後の成長が期待できます。また、鉄道分野では10年計画

の東海道新幹線枕木交換事業が2年間を残し、さらに7年間延長されました。また、北陸新幹線に加え、北海道及び九州新幹線も延伸され、リニア中央新幹線の着工も認可されたため、東京オリンピック・パラリンピック以降も引き続き発注量の増加が期待されています。

当社グループは、復旧・復興事業や、橋りょうの長寿命化修繕計画に真摯に取り組み受注高は31,465百万円(前年度受注高25,277百万円)と24.5%の増加となり、過去最高の受注額となりました。受注高増加に伴い第15期の売上高は24,366百万円(前年度売上高20,816百万円)と17.1%の増加となりました。営業利益は1,372百万円(前年度営業利益508百万円)と2.7倍、経常利益は1,328百万円(前年度経常利益455百万円)と2.9倍の大幅な増加となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は899百万円(前年度親会社株主に帰属する当期純利益472百万円)と1.9倍の大幅な増益となり、過去最高益を更新しました。この営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の増加を受け、昨年10月1日付の株式分割により1株当たり1円となっておりました期末配当は、本年2月3日付で発表させていただいたとおり2円と倍増させていただきました。また、次期の配当につきましては、1株当たり5円(うち中間配当2円50銭)としたいと考えております。

当社グループは長期的な人材育成に取り組んでおり、今年度も広島県のイノベーション人材育成事業補助金を受け国内で博士課程に職員を派遣しております。また、国内13大学や6団体・企業と21件の共同研究が進行中で、先行するマイクロパイル工法やK-LIP亜硝酸リチウム工法など、徐々に成果をあげつつあります。

当事業年度は期首手持工事高が対前年度比で25.9%ほど増加し、期中の受注も順調に推移したため、期末の手持工事高は28.6%増加しております。その結果、東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定された初年度を、増収増益で終わることができました。これもひとえに、株主の皆様、お取引先様をはじめ、関係者の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、「人と人」「技術と技術」の橋渡しの経営理念のもと、「技術で社会に貢献する」企業グループとして、これからも、企業価値の最大化に努め、資本効率のさらなる向上を目指し、より多くの皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



代表取締役社長

藤田 公康

## Profile

(株)ビーアールホールディングス  
代表取締役社長 藤田 公康 (昭和25年9月9日生)

昭和49年 慶応義塾大学法学部 政治学科卒業  
昭和51年 ハートフォード大学 経営学部修士課程卒業 (MBA)  
昭和51年 大塚製薬(株)入社 企画課長  
昭和56年 極東工業(株)(現極東興和(株))入社 取締役社長室長  
昭和60年 同社代表取締役社長  
平成5年 同社代表取締役会長  
平成14年 当社取締役  
平成17年 当社代表取締役社長(現任)

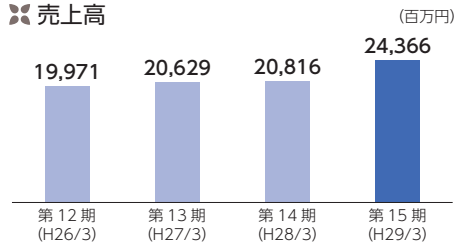
### <兼職>

昭和63年 (社)広島青年会議所 理事長  
平成2年 (社)日本青年会議所 会頭  
平成27年 極東興和(株) 代表取締役社長

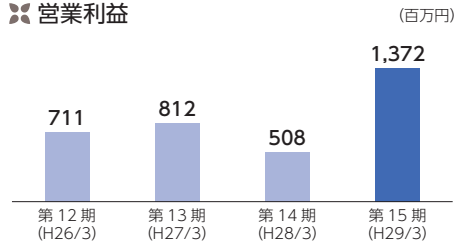


# 業績ハイライト [ Results Highlights ]

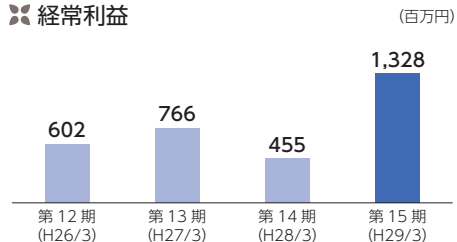
## 売上高



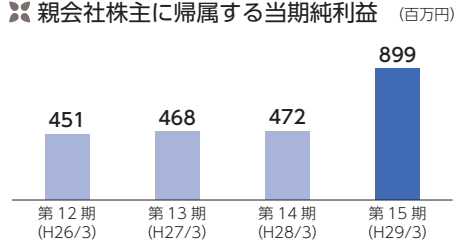
## 営業利益



## 経常利益

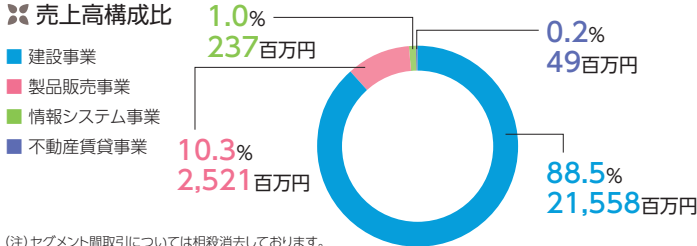


## 親会社株主に帰属する当期純利益



# セグメント別の状況

## 売上高構成比



## 建設事業

〈橋りょう土木工事の設計・施工〉

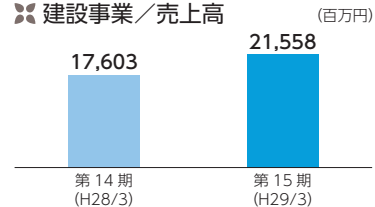
売上高 ▶ 215億58百万円 前年同期比 ▶ 22.5%増



建設事業におきましては、高速道路会社を中心とした大型工事の受注が好調で、当連結会計年度の受注高は276億83百万円(前年同期比25.8%増)となりました。主な受注高としましては、西日本高速道路(株)発注の新名神高速道路 淀川橋工事(請負額50億円)、鉄道建設・運輸機構発注の北陸新幹線 深山トンネル他(請負額25億62百万円)です。売上高につきましては、前期からの手持工事が順調に進捗

したことにより215億58百万円(前年同期比22.5%増)となり、セグメント利益につきましては、売上高の増加に加え、当社独自技術のマイクロパイル工法による補修工事の利益が寄与し、19億84百万円(前年同期比93.6%増)となりました。

## 建設事業／売上高



(注) セグメント間取引を含めております。

## 製品販売事業

〈コンクリート二次製品の販売〉

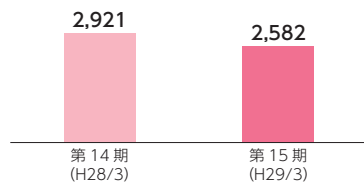
売上高 ▶ **25億82**百万円

前年同期比 ▶ **11.6%**減



製品販売事業におきましては、当連結会計年度の受注高は32億38百万円(前年同期比18.7%増)となりましたが、建築部材の出荷数量が減少したことにより、売上高は25億82百万円(前年同期比11.6%減)、セグメント利益は1億98百万円(前年同期比10.3%減)となりました。

### 製品販売事業／売上高 (百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

## 情報システム事業

〈システム開発・販売〉

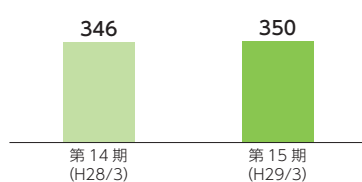
売上高 ▶ **3億50**百万円

前年同期比 ▶ **1.1%**増



情報システム事業におきましては、国内のIT関連需要は増えてきており、既存顧客企業のIT投資が徐々に増えておりますが、新規顧客企業のシステム開発における生産性等で課題が残る状況となりました。当連結会計年度の売上高は3億50百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益は8百万円(前年同期比39.4%減)となりました。

### 情報システム事業／売上高 (百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

## 不動産賃貸事業

〈当社ビルのマンション賃貸運営等〉

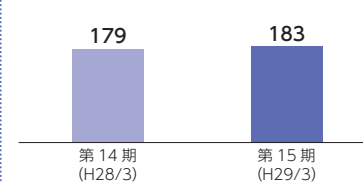
売上高 ▶ **1億83**百万円

前年同期比 ▶ **2.0%**増



不動産事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸ならびに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定した売上高を計上しております。当連結会計年度の売上高は1億83百万円(前年同期比2.0%増)、セグメント利益は1億24百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

### 不動産賃貸事業／売上高 (百万円)



(注) セグメント間取引を含めております。

## 1 こつなぎ 小津奈木第二橋 〈極東興和株式会社〉

小津奈木第二橋は、九州地方整備局の発注工事で現在建設中の南九州西回り自動車道芦北出水道路の一環として津奈木ICと水俣IC間にある橋りょうです。本工事は、各径間の長さ・橋桁重量が違う特徴を持っており、かつ縦断勾配4%という条件と橋脚高さが20m程度あるため架設難易度の高い特性を持った工事です。本工事を施工するにあたり、社内での検討・協力会社職員をまじえた現地での作業手順打ち合わせを行った上、ダブルガーダーによる架設工法を採用し、架設機材の計画・組立実施・架設・架設機材の移動・架設機材の解体をより安全側に考えながら作業を進めました。また技術を継承するために、当社職員と協力会社のベテラン指導員により若手職員を



対象にした現場施工研修会を行いました。さらに、地元見学会・小学生を対象としたお絵かき大会を開催した結果、発注者から高い評価をいただき、平成29年3月に無事故無災害で工事を完了しました。



## 2 岡野第一橋 〈極東興和株式会社〉

岡野第一橋は、国道24号京奈和自動車道を構成する8つの自動車道の中で最も和歌山市寄りの紀北西道路に位置し、阪和自動車道の接続部にあたる和歌山ジャンクションからのロングランプの一部を構成する橋りょうです。紀北西道路は、京奈和自動車道のうち延長12.2kmの区間を整備するもので、阪和自動車道と接続して高規格幹線道路ネットワークを形成し、京奈和自動車道の一區間として広域的な役割を果たすとともに、一般道路の交通混雑の緩和、和歌山の新たな産業基盤の構築とまちづくりなど地域の発展に寄与します。本橋りょうは橋長167m、構造形式はPC2径間連続ラーメン箱桁橋です。架設工法は片持架設工法で、PC連続ラーメン箱桁橋の品質の確保、向上のための施工方法の工夫を技術提案し、平成27年9月より施工を着手して平成28年11月に無事故無災害で工事を完了し発注者から高い評価をいただきました。



3

ぬのかわ

## 布川大橋 〈東日本コンクリート株式会社〉

布川大橋は、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県相馬市と福島市を結ぶ相馬福島道路の中央に位置する橋長203mの6径間連結PCコンポ橋です。高橋脚、県道と交差等の現場条件に加えて、全国的に橋りょう架設中の事故が散見される時期における主桁架設であったため、特に綿密な計画と細心の注意で施工しました。また、地元住民や学生を招いての現場見学会も積極的に開催し地域貢献にも取り組みました。



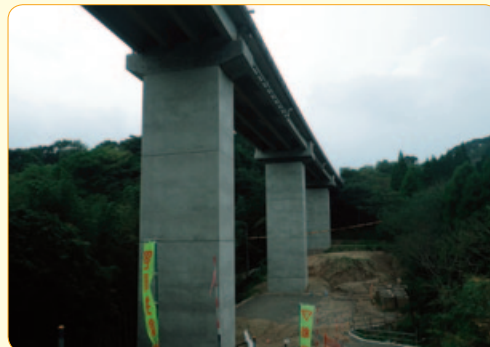
復興支援道路として早期完成が期待されるなか、主桁架設と横組工・床版工を並行作業とするなどの工程短縮を図り、平成29年3月に無事故で工事を完了することができました。

4

## 小浜橋耐震補強工事 〈極東興和株式会社〉

小浜橋は、佐賀県唐津市の唐津市役所の西方10kmに位置し、国道202号と交差する玉島川に架けられた橋です。目前には玄海国立公園の一部である虹ノ松原が広がり、その先の唐津湾も望めるという絶好のロケーションにあります。

この度、国土交通省佐賀国道事務所から本橋の耐震補強工事の2期工事が発注され、そのなかの橋台・橋脚の塩害及びアルカリ骨材反応対策として、当社のリハビリカプセル工法が採用されました。現場見学会を開催したところ多数の参加者がありました。





## 高速道路の大規模更新・大規模修繕の取り組みについて

高速道路は、全国に約9,000km(平成26年4月1日現在の総延長)張り巡らされていますが、高度経済成長期に建設された路線では、共用から40年以上経過し、老朽化が進行し、増大する交通量や塩害等の要因により、橋やトンネル等の構造物の耐久性に問題が生じ始めています。

このような状況のなか、NEXCO(高速道路会社)各社は、平成27年度より、15年間で総額3兆円余りを投じ、大規模更新、大規模修繕事業を開始しました。なかでも橋りょうの路面にあたるRC(鉄筋コンクリート)製の床版を、PC(プレストレストコンクリート)製床版に置き換える事業は、総額1兆6,400億円の大プロジェクトです。

当社グループの極東興和(株)では、現在中国自動車道において、PC床版取替工事を2工区受注し、同社江津PC工場(島根県)及び大分工場(大分県)にてPC床版を製作し、現地で取替工事を実施しています。

今後一層増加する同事業に対応するため、平成28年9月に実施した公募増資で調達した資金を活用し、当社グループで保有する5工場(巨理・静岡・高宮・江津・大分)に順次設備投資を行い、製造設備の増強を行っています。

当社グループでは、コア事業である橋りょう新設事業の他、今回ご紹介したPC床版取替事業やマイクロパイル工法、K-LIP工法など様々な補修・補強工法に豊富な実績を有しております。皆様が、橋りょう等の構造物を安心・安全にご利用いただけるよう取り組んでいます。

ようだに

### 容谷橋床版取替工事〈極東興和株式会社〉

容谷橋床版取替工事は、西日本高速道路(株)発注の高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新)の一環として、中国自動車道吉和～六日市IC間に架橋されている容谷橋の

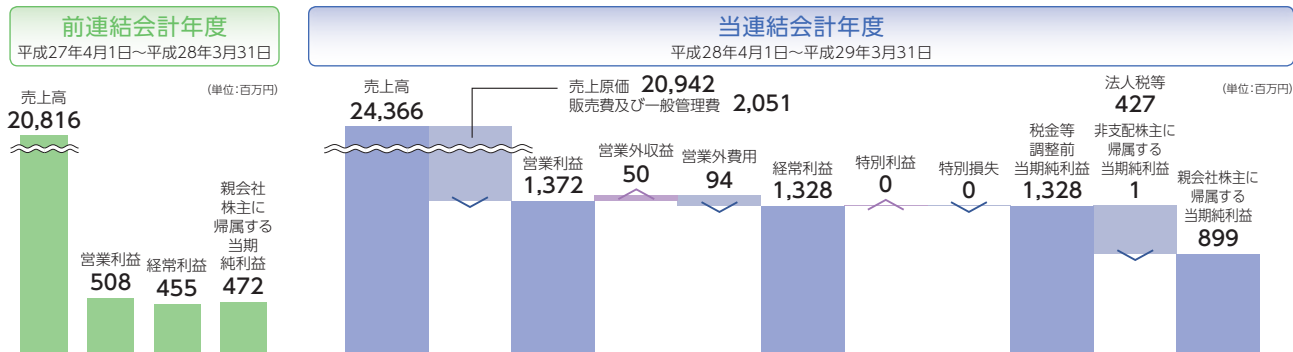


床版を取り替える工事です。大規模更新とは、損傷したRC床版を、より耐久性の高いPC床版に取り替える工事であり、当社江津PC工場にて製作を行ったプレキャストPC床版を使用しています。平成28年度に上り線(112m)を完了、平成29年度に下り線(112m)を施工して、平成30年3月完成の予定であります。

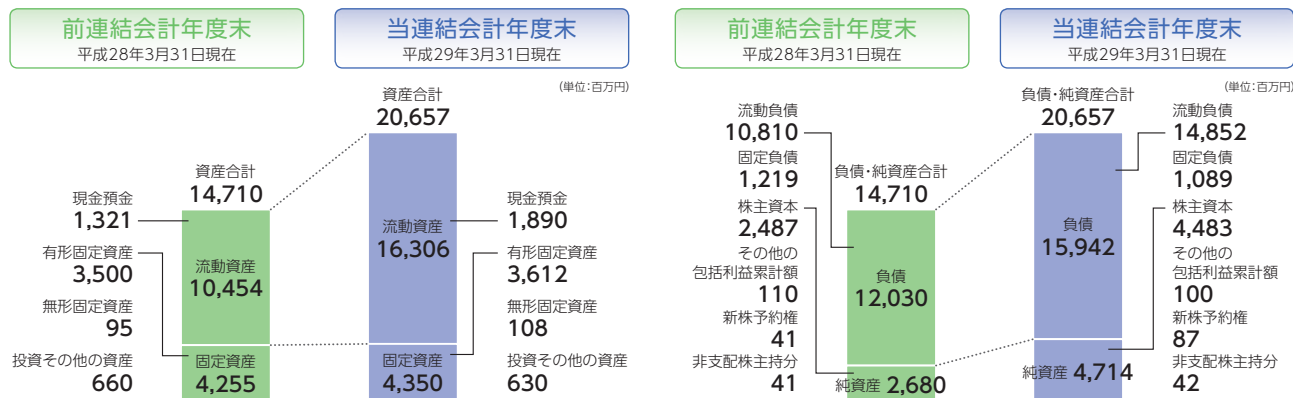




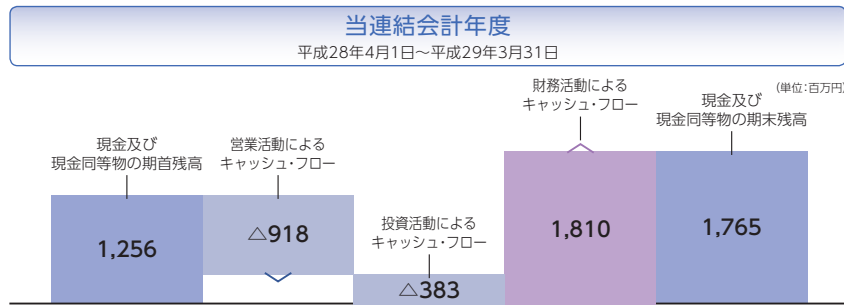
❖ 連結損益計算書



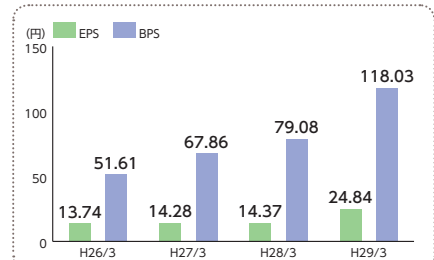
❖ 連結貸借対照表



❖ 連結キャッシュ・フロー計算書



❖ 1株当たり  
当期純利益 (EPS)、純資産 (BPS)



(注)当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成26年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」を算定しております。

❖ 会社概要 (平成29年3月31日現在)

|       |   |
|-------|---|
| 商号    | 株式会社 ビーアールホールディングス<br>Br.Holdings Corporation |
| 設立    | 平成14年9月27日                                    |
| 本社所在地 | 広島市東区光町二丁目6番31号                               |
| 電話    | 082-261-2860(代表)                              |
| 資本金   | 3,017,041,000円                                |
| 決算期   | 3月31日   |
| 従業員数  | 12名(連結508名)                                   |

❖ 代表者及び役員 (平成29年6月23日現在)

|               |         |
|---------------|---------|
| 代表取締役社長       | 藤 田 公 康 |
| 取締役           | 多 賀 邦 行 |
| 取締役           | 山 根 隆 志 |
| 取締役           | 山 縣 修   |
| 取締役           | 石 井 一 生 |
| 取締役           | 天 津 武 史 |
| 取締役・常勤監査等委員   | 藤 並 信 幸 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 小 田 清 和 |
| 取締役・監査等委員(社外) | 佐 上 芳 春 |

❖ グループの概況 (平成29年3月31日現在)

極東興和株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/ PC構造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市  
事業内容/ PC構造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート構造物の診断・補修・補強等

キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/ PC製品及びコンクリート二次製品の  
設計・製造・販売・施工等



豊工業株式会社

本社所在地/大分市  
事業内容/ PC及びコンクリート二次製品の製造・販売等

ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/ ソフトウェアの設計・開発及び販売等

## 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 120,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 39,700,000株  
 株主数…………… 22,329名

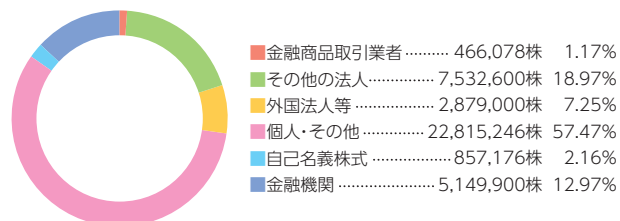
(注)平成28年10月1日付で株式分割(1株を2株に分割)に伴う定款の変更が行われ、発行可能株式総数は、60,000,000株増加しております。また、発行済株式の総数は、平成28年9月6日を払込期日とする公募による新株式の発行により2,610,000株増加、平成28年10月1日付で株式分割(1株を2株に分割)により19,850,000株増加しております。

### 大株主 (上位10名)

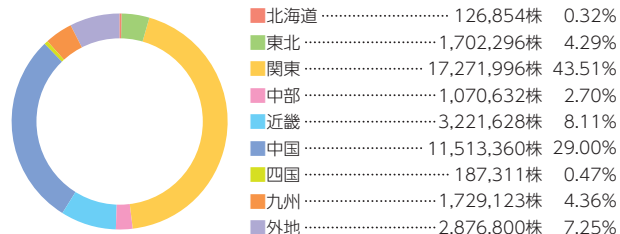
| 株主名                         | 持株数        | 持株比率      |
|-----------------------------|------------|-----------|
| トウショウ産業株式会社                 | 4,800 (千株) | 12.36 (%) |
| 藤田公康                        | 2,695      | 6.94      |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 1,947      | 5.01      |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)   | 1,637      | 4.22      |
| ビーアールグループ社員持株会              | 1,317      | 3.39      |
| ビーアールグループ取引先持株会大阪支部         | 1,005      | 2.59      |
| 広成建設株式会社                    | 988        | 2.54      |
| ビーアールグループ取引先持株会広島支部         | 946        | 2.44      |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行               | 800        | 2.06      |
| 遠藤祐子                        | 733        | 1.89      |

(注)持株比率は自己株式(857千株)を控除して計算しております。  
 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

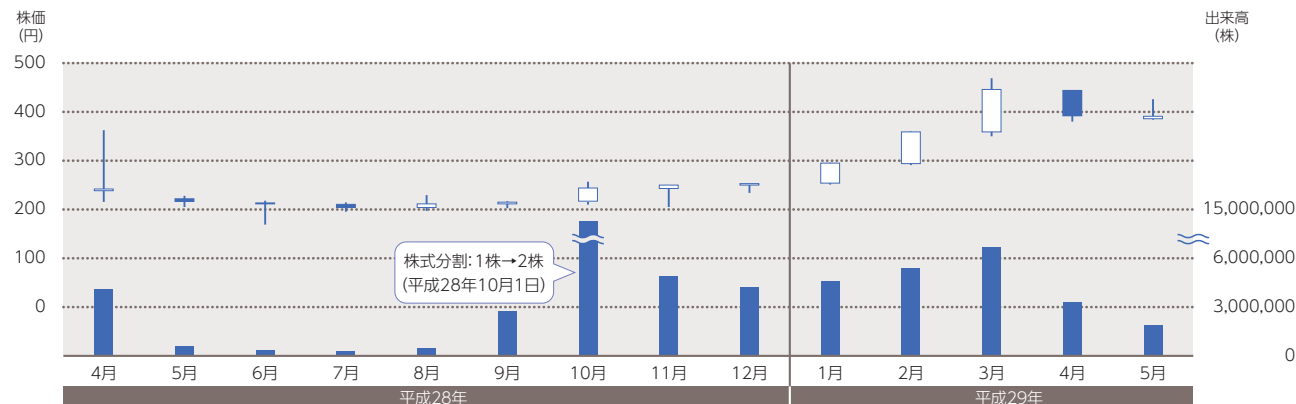
### 所有者別株式分布状況



### 地域別株式分布状況



## 株価の推移



(注)上記のグラフでは株式分割に伴う影響を加味し遊及修正を行っております。



## 株主メモ

|                        |  |
|------------------------|--|
| 事業年度                   | 4月1日～翌年3月31日   |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日  |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日  |
| 定時株主総会                 | 毎年6月   |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777(通話料無料)   |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所  |
| 公告の方法                  | 電子公告により行う。<br>当社ホームページ<br>( <a href="http://www.brhd.co.jp/koukoku/index.html">http://www.brhd.co.jp/koukoku/index.html</a> )にて掲載。<br>(ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。) |

## 表紙写真について

### 歌高架橋2工区・3工区

(極東興和株式会社)

歌高架橋は、昭和50年に建設された国道8号歌高架橋が、日本海沿岸に位置し塩害損傷による腐食が著しく、恒久対策としての架け替えが必要となり、架け替え工事として計画されたプレキャストセグメント方式のポストテンション5径間連続中空床版橋×2橋です。



えちごトキめき鉄道と国道8号に挟まれた狭隘な施工環境と、工期設定が短いことが最大の問題でしたが、架設工法にガントリークレーンとダブルガーダーを組み合わせて工事を完了させました。また、塩害対策区分「S」のため施工時に錆が発生しないよう、エポキシ樹脂鉄筋・定着具への粉体塗装・ECFストランド使用等の塩害対策、発注者や地元住民及び小学生の現場見学会等の対応を積極的に受け入れ、発注者より高い評価をいただきました。

 **株式会社 ビーアールホールディングス**  
Br.Holdings

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861  
ホームページ <http://www.brhd.co.jp/>  
IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからもご覧ください。

